

系	統	溶剤系エポキシ樹脂プライマー										
特	長	1) SBトフコートフィラーとSBトフコート中塗との接着性を向上させる。										
用	途	1) SBトフコートF工法、SBトフコートAU工法のプライマー 首都高速道路(株)橋梁構造物設計要領(コンクリート片剥落防止編)はく落防止工 同等										
配	合 比	主 剤 : 硬化剤 = 8 : 1 (重量比)										
荷	姿	18kgセット (主剤/16.00kg、硬化剤/2.00kg)										
外	観 性 状	主 剤…淡黄色液状 硬化剤…淡黄色液状 混合物…淡黄色液状										
可	使 時 間	<table border="1"> <tr> <td>温 度 [ °C ]</td> <td>5</td> <td>10</td> <td>20</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>可 使 時 間 [ 分 ]</td> <td>360</td> <td>300</td> <td>180</td> <td>90</td> </tr> </table>	温 度 [ °C ]	5	10	20	30	可 使 時 間 [ 分 ]	360	300	180	90
温 度 [ °C ]	5	10	20	30								
可 使 時 間 [ 分 ]	360	300	180	90								
比	重	0.80~1.10 (混合物液比重)										
標	準 使 用 量	0.1 kg/m <sup>2</sup>										
貯	蔵 保 証 期 間	12か月(未使用、冷暗所保存)										
消	防 法 に よ る 区 分	主 剤 危険物 第4類 第1石油類 硬化剤 危険物 第4類 第1石油類										
使	用 方 法	1) セット単位または主剤、硬化剤を配合比にしたがって計量して使用する。 2) 計量した主剤、硬化剤を攪拌機で均一になるまで十分に混合攪拌する。 3) ローラー、刷毛、ゴムベラなどで塗布する。										
使	用 上 の 注 意	1) 原則として気温5℃以下、湿度85%以上、雨天時、結露時の塗装は避ける。 2) 接着面の表面処理を十分に行う。(汚れ、水分の除去) 3) 主剤と硬化剤の混合攪拌時、空気を巻き込まないように、低速で攪拌を行う。 4) 混合攪拌後すみやかに塗布し、可使時間内に塗布作業を終了する。										

⚠ 注 意
-------

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 健康上、注意を要する物質を含有しています。</li> <li>2. 皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。</li> <li>3. 取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。</li> <li>4. 詳細については製品安全データシート(MSDS)を参照してください。</li> </ol> |
|---|